

## (臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] アニサキスアレルギーのアレルゲンコンポーネント解析

[研究責任者] 国立病院機構相模原病院臨床研究センター臨床研究推進部長 福富友馬

[研究の背景]

魚介類の寄生虫であるアニサキスは、成人の食物関連アレルギーの原因アレルゲンになることがあることが知られています。現在までに 14 種類以上のアニサキスアレルゲンコンポーネント（アレルギーの原因となるタンパク質）が見つかっておりますが、それぞれのアレルゲンコンポーネントの重要性に関しては不明な点が多いです。それぞれのアレルゲンコンポーネントの重要性を明らかにする研究が期待されています。

[研究の目的]

成人アニサキスアレルギーにおいて頻度の高い感作アレルゲンコンポーネントを同定すること。感作アレルゲンコンポーネントと臨床像の関係に関して検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2009年1月1日以降、相模原病院で診断されたアニサキスアレルギーの患者さん

●研究期間： 2024年6月18日から2027年4月30日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血清（診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、合併症）
- ② 血液所見（好酸球数など）
- ③ アレルギー検査結果（アニサキス特異的 IgE 抗体価、総 IgE 値、その他の抗原に対する特異的 IgE 抗体価、皮膚テスト結果、負荷試験結果）
- ④ 初診時までの魚介類摂取後の誘発症状（回数、摂取した食物、誘発症状の詳細）
- ⑤ 経過観察中の魚介類摂取後の誘発症状（回数、摂取した食物、誘発症状の詳細）
- ⑥ 投薬内容（アドレナリン自己注射液など）

●検体や情報の管理

血清は、検体を測定する機関である京都大学大学院農学研究科に配送で提出し、測定さ

国立病院機構相模原病院 情報公開用文書 作成日 2024年4月30日 第1.0版  
れます。測定後は速やかに個人を識別できないように適切に廃棄します。  
情報は、研究代表者機関である相模原病院もしくは京都大学大学院農学研究科にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

#### [研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 臨床研究推進部長 福富友馬

●その他の共同研究機関：

京都大学大学院農学研究科（責任者 丸山伸之）

島根大学皮膚科（責任者 千貫祐子）

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける被験者リストを当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。被験者リストは、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である京都大学大学院農学研究科が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

#### [研究の参加について]

この研究への参加（血液検体やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

#### [問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 臨床研究推進部長 福富友馬  
電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314